

地域クラブ認定要件確認書

1 地域クラブの組織に関すること

- ☐ 瀬戸内市内の生徒・児童を中心に編成されている。
- ☐ 活動拠点を瀬戸内市内としている。

※ 活動拠点を瀬戸内市外としている理由

- ☐ 営利を目的とした運営ではない。
- ☐ 持続可能な地域クラブの運営を目指し、複数の役員等が運営に携わっている。
- ☐ 次の内容が記載されている規約等が整備されている。
 - ・目的が記載されている
 - ・入退会について記載されている
 - ・会費について記載されている
 - ・役員（代表、会計、監事等）を置くことが記載されている
- ☐ 複数の指導者が配置されている。
- ☐ 以下の資格を有する指導者が 1 名以上配置されている。
 - ・JSPO 公認のスポーツ指導者の資格を有する。（スポーツ活動を行う団体に限る）
 - ・小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の教員として部活動指導等の指導実績を有する。
 - ・当該活動の指導における資格を有し、生徒の指導に対し上記と同等と認められる。

（理由： ）

 - ・その他、市教育委員会が特に認める者。
- ☐ 参加者及び指導に携わる者のすべてが活動に係る傷害保険、賠償責任保険に加入している。

2 地域クラブの運営に関すること

- ☐ 生徒の所属校と活動方針や活動状況、スケジュール等の共通理解を図るとともに、必要に応じて情報共有を行い、連携を図っている。
- ☐ 活動時間は、平日は 1 日 2 時間程度以内、休日は 1 日 3 時間程度以内とし、休養日の設定は、週 2 日（休日だけ活動する場合は週 1 日）以上としている。
- ☐ 活動の維持・運営に必要な範囲で可能な限り低廉な会費を設定している。
- ☐ 代表者及び指導者等は、県や市が主催する指導者研修等を積極的に受講している。

様式 2

- ☐ 学校部活動の教育的意義を継承・発展し、生徒の資質・能力の向上を主たる目的としている。また、競技性や成果のみに偏重せず、広域からの生徒招集や選抜等を実施していない。

学校部活動の教育的意義

- ・生徒の自主的、自発的な参加により行われるものであり、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養に資する活動である。
- ・スポーツ、芸術文化等の幅広い活動機会を得られるとともに、体力や技術の向上に資するだけでなく、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会でもある。

- ☐ 暴言、暴力、ハラスメント等の不適切行為の防止を徹底し、人権を尊重して活動を行っている。
- ☐ 生徒の発達段階や健康の状態、気温等の環境を考慮し、指導内容や練習時間、水分補給、休憩時間の設定等、健康・安全に配慮した運営をしている。
- ☐ 施設管理者と連携して施設・設備・用具の点検を実施するなど、安全管理に配慮した運営をしている。
- ☐ 保護者や関係機関への緊急時の連絡体制の整備など、危機管理体制が整備されている。
- ☐ 地域クラブに関わる役員・指導者・スタッフ等、すべての関係者が、リスク管理において責務を負っていることを自覚し、生徒の安全確保に努めている。

令和 年 月 日

地域クラブ名 _____

代表者氏名 _____